

# 令和7年 9月の優しさ通信

## 目次

- (1) 👧👦 保育事故 3190 件で最多 昨年 418 件増、死亡は 3 件
- (2) 👧👦 保育施設 8 割「人材が不足」 こども家庭庁調査
- (3) 🚗 車の踏み間違い防止 装置義務化 新型輸入車も
- (4) 🚑 市販薬乱用、中学生の 1.8% 昨年度、厚労省が初の推定
- (5) ♿ 旅行あきらめないで 万博の挑戦



- (1) 👧👦 **保育事故 3190 件で最多 昨年 418 件増、死亡は 3 件**  
**こども家庭庁まとめ**

\*2024 年に全国の保育所や幼稚園、認定こども園といった施設で、子どもがけがを負うなどした事故の件数が前年から 418 件増加し、3190 件。過去最多を更新。

\*骨折が約 8 割。事故件数のうち死亡は 6 件減の 3 件。

\*死亡事故の発生時の状況は、睡眠中が 2 件、食事中が 1 件。

\*死亡事故のほか、治療に 30 日以上かかるけがなどを伴う事故が報告の対象。

(2025 年 8 月 4 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

- (2) 👧👦 **保育施設 8 割「人材が不足」 こども家庭庁調査**

\*保育施設の 80.3%が保育士らの不足を感じています。

\*全体のうち 25.3%は人材不足によって子どもを定員まで受け入れられなかった経験がありました。

(2025 年 8 月 14 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (3) 車の踏み間違い防止 装置義務化 新型輸入車も

#### 国際基準、日本の技術が礎

\*自動車のブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故を防ぐため、国土交通省は急加速を抑える装置の搭載を義務付けました。

\*2028年9月以降、国産の新型オートマチック車を始め順次適用。

\*2029年9月以降に型式を取得する新型の輸入車も搭載義務化の対象。

\*踏み間違いによる事故が起きにくいマニュアル車は対象外。

\*国交省は2022年、国連の自動車基準調和世界フォーラム（WP29）で、日本の装置の安全基準を国際基準とするよう提案。2024年11月に承認されました。

\*現在では国産オートマ車の9割超で搭載されるようになりました。

\*ペダルの踏み間違いによる事故は2024年に2853件で、2015年（3830件）から半減。

（2025年8月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



### (4) 市販薬乱用、中学生の1.8%

#### 昨年度、厚労省が初の推定 孤立や生きづらさ 背景

\*咳止め薬や解熱鎮痛薬などの一般用医薬品（市販薬）を過去1年以内に乱用目的で使った経験がある中学生は1.8%（約55人に1人）と推定（厚生労働省2024年度調査）。

\*男子は1.5%、女子は2.0%。

\*1年生2.1%、2年生1.8%、3年生1.6%。

\*日常生活や学校での「生きづらさ」の有無は、乱用経験のある生徒の21%が「かなり感じている」、26%が「どちらかといえば感じている」と回答。

\*2021年度に実施した高校生対象の調査では、1.6%（約60人に1人）。

※オーバードーズ：一般用医薬品（市販薬）や処方薬を過剰摂取すること。

（2025年8月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

## (5) 旅行あきらめないで 万博の挑戦

### 全施設バリアフリー 障がい者向け支援ツアー

\*大阪・関西万博が、年齢や障害の有無に関わらず旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」を推進するための拠点となっています。

\*「アクセシビリティセンター」：配慮を必要とする来場者に向けたサービス拠点。

\*車いす約 300 台を無料で貸し出し。利用率は平日、休日ともほぼ 100%。

\*日本国際博覧会協会（万博協会）は目標とした来場者数 2820 万人のうち、7.6%の 214 万人が何らかの障害を抱えると推計。

\*「ユニバーサルデザインガイドライン」を策定し、パビリオンなどを含む全ての施設がガイドラインに適合するように求めました。

\*パナソニックホールは、障害のある社員をメンバーに加えた専門チームを立ち上げ。

\*障がい者の万博ツアーを支援する「レッツエキスポ」も多くの人々が利用。

\*参加者の希望に基づいたコースを作り、2人以上のボランティアが付き添います。

\*ツアーは 1 回 4 時間。

\*参加者の 82%がこのツアーが「来場のきっかけになった」と回答。

●ユニバーサルツーリズムの課題も。

\*前を見て歩いていない人が多く、急にはよけられない車いすユーザーにとっては対応が困難。

\*デジタル表示となった場内地図の確認のため、歩きスマホが横行していることが背景に。

\*SNS上では、配慮が必要な人を対象とした優先レーンに対し「長時間並ばずに入れるのはずるい」といった声も散見されます。

\*体力が長時間持たない人や、同じ場所に居続けるのが難しい人もいるので、優先レーンの存在は大事。

\*長い目で見れば、いずれ自分や家族も支援が必要になると想像力を働かせて、当事者の目線で理解することが重要。

\*旅行会社 118 社のうち、ユニバーサルツーリズムに関連する旅行商品を取り扱っていると答えたのは 29%（観光庁 2023 年調査）。

\*国内のユニバーサルツーリズムの市場規模はおよそ 2.1 兆円を見込みます。

（2025 年 8 月 25 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）